

ほっと

NEWS

ここを支える、ここで支える

CONTENTS

NEWS & TOPICS

- ・入学式
- ・新入生研修会
- ・先輩からの活動報告
- ・パーソナルスペース実験演習
- ・特別クラブがシーズンイン

新任の先生からのメッセージ

突撃！研究室訪問



ひと

／
 ところ

／
 地域



Message

新任の先生からのメッセージ

臨床・発達心理専攻

ぬのい まさと
布井 雅人 助教

●経歴
 京都大学教育学部
 京都大学大学院教育学研究科修士課程
 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程
 日本学術振興会特別研究員 DC2



大学では高校までと違い、“自由”になる時間が格段に増えます。その自由な時間をどのように使うのかによって、大学生活の濃さは決まります。将来に向けて勉強するのはもちろんのこと、学生の内だからできること（クラスやサークル、もちろん遊びも）にも打ち込んでもらいたいです。4年間という時間は長く思えるかもしれませんが、終わってしまうとあっという間です。将来、自分の大学生生活を自慢できるよう、色んなことを経験してもらいたいと思っています。

健康運動心理専攻

まつい こうた
松井 幸太 講師

●経歴
 徳島県スクールカウンセラー
 淡路市福祉事務所生活福祉課家庭児童相談室
 鳴門教育大学心理・教育相談室
 鳴門市総合型地域スポーツクラブ NICE



大学生活ではたくさんの出会いがありますが、人と出会うということは、他者との出でだけでなく、新しい自分との出会いでもあるように思います。周囲のひととの関わり合いの中で自分自身の幅が広がり、そこに時間と労力をかけて深めていくことで、新しい自分を発見したり、またひと回り成長したりできるのかもしれない。たくさんの出会いを大切に、自分自身の可能性にチャレンジしながら、ともに成長していけたらと思っています。

突撃取材！研究室訪問



谷口麻起子 准教授
 今回は、人間心理学臨床・発達心理専攻の谷口麻起子（たにぐち まきこ）准教授をご紹介します。インタビュー形式でお届けします。



和やかな雰囲気での専門ゼミ（4回生）でのひとと

谷口 まず「摂食障害」ですが、心理検査で摂食障害の方の心を理解し、治療につなげる方法を検討しています。「保護者支援」はキンダーカウンセラー活動やスクールカウンセラー活動を通して、保護者のカウンセリングをしています。

富川 具体的にどのような方法で研究し、支援をされているのか。

谷口 臨床心理学を専門としています。臨床心理学は人の個性、主観性を大切にする学問です。人の心を扱うので、なんでもありの学問ともいえますが、私はその中でも特に「摂食障害」と「キンダーカウンセリング」を研究テーマとしています。また、臨床心理士として実際に支援活動も行っています。

谷口 3回生のゼミでは、心理検査やカウンセリング技法を体験してもらっています。やってみないとわからないことが多いですね。心理検査の体験では、学生は自分自身を対象にして検査をします。カウンセリング技法の体験では、ロールプレイをして、「聴く」「この難しさを、実感してもらっています。会話が途切れてしまいい、沈黙に耐えられない学生も多いですが、これも大切な経験になると思っています。

富川 4回生のゼミはいかがですか。

谷口 4回生のゼミでは、卒業論文の指導をしています。論文のテーマをこちらから指定することはありません。学生自身が興味を持つて取り組めるテーマでないと続かないと思っています。論文を完成させた学生が、「やっつて良かった」と言ってくれた時は嬉しかったですね。

富川 その他の授業はいかがですか。

谷口 「心理検査ⅠⅡ」という授業を担当しています。本物の検査を自分で受け、理論・解釈の方法を学び、データの分析、レポートの作成まで行います。回数をかけて一つの検査をじっくり学べることや、レポートの添削等、細かい指導を受けられることが、この授業の特徴だと思います。

富川 最後に高校生の皆さんへメッセージをお願いします。

谷口 進路は無理をしてまで早い時期に決めなくても良いと思います。じっくり考え、悩んで決めて欲しいですね。悩むことが皆さんの力になると思います。

f 聖泉の旬な情報が満載！ ※ログインなしでも閲覧いただけます

公式 **face book** をCHECK!!

<https://www.facebook.com/SeisenUniversity>



季刊誌のバックナンバーは
 公式ホームページで公開中！
<http://www.seisen.ac.jp/>

編集・発行 学校法人聖泉学園
 〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 720
 TEL 0749-43-7511 FAX 0749-43 5201
 Email nyuushi@seisen.ac.jp
 発行日 2014年5月30日



NEWS & TOPICS 01

大学生活の基盤をつくる

新入生宿泊研修

人間学部では、毎年新入生のための宿泊研修を行っています。今年度は滋賀県長浜市で、4月3日～4月4日の1泊2日で宿泊研修を実施しました。

これは、様々なガイダンスとともに、新入生同士の仲間づくりを意図した活動です。

研修では、大学の歴史や理念について、履修ガイダンスなどのほか、レクリエーションや上回生との交流など、新入生が少しでも早く大学生活に慣れるようにと、メニューが組まれています。

最初はぎこちない雰囲気ですが、そこは同じ興味、目的を持った仲間同士。同行した教員や上回生の後押しもあって、徐々に打ち解けていきます。

これから4年間をともに過ごす仲間達との出会い。そして、輝かしい大学生活の始まり。新入生の皆さんが、さらに成長していく姿を見られることが今からとても楽しみです。



◆◆◆ 平成26年度入学式

4月2日（水）に聖泉大学の平成26年度入学式を行いました。

式典では人間学部新入生を代表し小山香澄さんが「社会に貢献し、他者の思いに寄り添い支えられるような人物になれるよう、学問に励み、それぞれの世界を広げていきたい」と述べています。

「より良き未来を創っていくために、創造力や思考力を身につけ、社会に貢献し、人の気持ちに寄り添える看護師をめざします。」と誓いの言葉を述べ、新たな思いを胸に学生生活をスタートさせました。



NEWS & TOPICS 02

キャリアデザイン A

先輩からの活動報告



キャリアデザイン A（1回生科目）で、横山辰弥さん（キャリア創造専攻3回生、富川ゼミ）が、「仲間」と「チームワーク」をキーワードとして、これから地域活動に参画する1回生の後輩にこれまでの活動経験を話してくれました。

横山さんは、学生サークル「たね」の代表として防災活動などに取り組んできました。活動における「仲間」や「チームワーク」の大切さを後輩に熱く伝えてくれました。また、CICセミナー（学生が企画する地域対象の公開講座）や学友会の幹部としての貴重な経験も話してくれました。

今後、地域を舞台に様々な活動に参加する1回生は、真剣な眼差しで先輩の話に聞き入っていました。

NEWS & TOPICS 03

心理学基礎演習

パーソナルスペースの実験演習

心理学基礎演習とは、実験的研究の基礎を習得するために実際に実験を体験する授業です。今回はパーソナルスペースを測定する実験を行いました。パーソナルスペースとは、他人にそれ以上近づかれると、緊張したり不快に感じてしまう空間のことです。



実験では、5グループに分かれ、同性同士や異性間でのパーソナルスペースの大きさを測定しました。普段の教室での授業と違い、体育館で実験を行ったので、みんな楽しそうに実験を行っていました。今後は、測定したデータを基に分析を行い、結果について考察を行う予定です。

NEWS & TOPICS 04

聖泉シンボリックスポーツ

特別3クラブの試合が開幕！

聖泉大学では、地域から愛されるクラブづくりをモットーする、男女ホッケー部と女子サッカー部を聖泉シンボリックスポーツとして位置づけています。3クラブ共、関西の大学リーグの1部リーグに所属し、歴史ある強豪チームに果敢に挑戦しています。

今シーズンは、男子ホッケー部がまずはじめにシーズンイン。女子ホッケー部、女子サッカー部と続きます。新入部員も加わり、一段とパワーアップしたチームで、強豪ひしめくリーグでどんな闘いを見せてくれるのか！乞うご期待！

昨年度、創部初のインカレベスト4入賞を果たし、全日本選手権に初出場。創部7年目を迎え35名で新たなシーズンを開く。アテネオリンピックを経験している宮崎監督のもと、更なる飛躍を遂げることができるか。



創部7年目は、高校女子チームを全国優勝に導いた名將後藤監督を迎え新体制で挑む。サッカーを全力で楽しみ、喜びを分かち合えるチームワークの良さがこのチームの魅力。



創部6年目。関西学生1部リーグに所属し、現在部員は21名。元日本代表として中心選手として活躍した山堀監督による指導のもと、急成長を遂げている。今年はインカレベスト4をめざし、日タトレーニングに励んでいる。



student voice

新入生代表宣誓

小山 香澄 さん（綾羽高等学校 出身）

聖泉大学に入学して1カ月が経ち、ようやく生活にも慣れてきました。私は現在学友会に所属して、様々な経験のなかで毎日がとても充実しています。聖泉大学で心理学を学ぶことにより、人の心に寄り添えるようになることや、多くの方々との関わりにより視野や世界を広げることができると考えています。聖泉大学では地域社会に貢献できる人材の育成に力を入れていて、私も先日ボランティアに参加して多くの地域の方々と関わらせていただきました。普段の大学内の講義では学ぶことのできない経験をすることで、充実した時間を過ごすことができました。今後も様々な活動を積極的に取り組みたいと考えています。

この大学生活を通じて多くの経験を積むことで、人の心に寄り添えるような豊かな心を持った人物を目指していきたいと思っています。

